

6. 地震の時に家の中を安全 にしておくために

家の中を安全にする。



1 家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる

部屋が幾つもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。無理な場合は、少しでも安全なスペースができるよう配置換える。



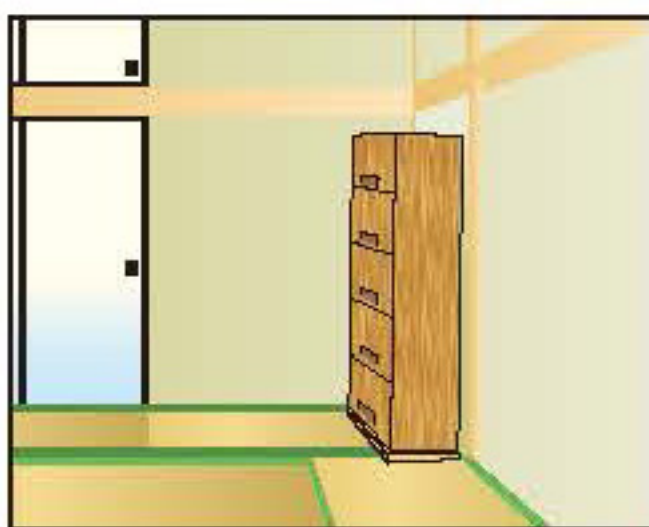
2 寝室、子どもやお年寄りのいる部屋には家具を置かない

就寝中に地震に襲われると危険。子どもやお年寄り、病人などは逃げ遅れる可能性がある。



3 家具は倒れにくいように置く

家具と壁や柱の間に遊びがあると倒れやすい。家具の下に小さな板などを差し込んで、壁や柱に寄りかかるように固定する。畳の上に置く場合は、家具の下に板を敷く。



4 安全に避難できるように、出入口や通路には物を置かない

玄関などの出入口までの通路に、家具など倒れやすい物を置かない。また、玄関にいろいろ物を置くと、いざというときに、出入口をふさいでしまうことも。



地震の時に倒れて、凶器になる代表的なものの例

タンス・本棚

L字金具や鎖・ベルトなどで固定する。二段重ねの場合は、つなぎ目を金具でしっかり連結しておく。



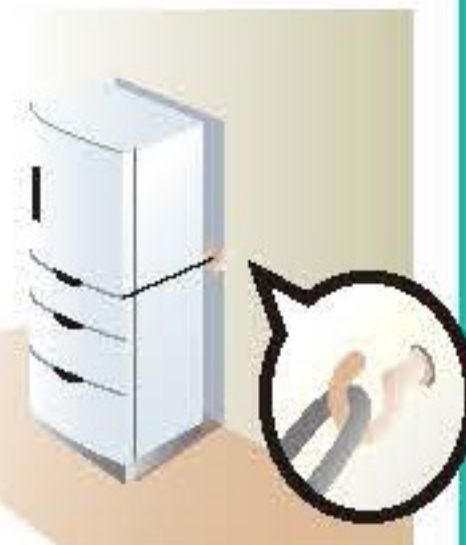
食器棚

L字金具や鎖・ベルトなどで固定し、棚板は滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下に、軽い食器は上の方に置く、扉が開かないように止め金具をつける。



冷蔵庫

2ドアの場合は、扉と扉の間に針金などを巻いて金具で壁に固定する。



テレビ

できるだけ低い位置に固定して置く(家具の上はさける)。



照明器具

チェーンと金具を使って数箇所止める。蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープで止めておく。



ピアノ

本体にナイロンロープなどを巻きつけ、取りつけた金具などで固定する。脚には、すべり止めを付ける。



どうすればよいかわからないときは、あらかじめ天理市役所に問い合わせましょう。地震が起こってからでは遅すぎます。